文部科学省
地域イノベーション戦略支援プログラム（グローバル型）

平成23年度版

OPTRONICS CLUSTER

浜松・東三河地域
オプトロニクスクラスター

オプトロニクス技術の高度化による
安全・安心・快適で持続可能なイノベーション社会の構築

静岡県　浜松市　財団法人 浜松地域テクノポリス推進機構

浜松地域オプトロニクスクラスター構想

浜松地域を中心に、愛知県豊橋市を核とする東三河地域及び国内外の先進地域と連携し、光電子工学（オプトロニクス）技術における企業・研究機関・研究者のさらなる集積化を図るとともに、関連するベンチャー企業、新事業、そしてイノベーションが連鎖的に創出される「知」と「技」の一大集積拠点「世界に通じる、世界が注目するオプトロニクスクラスター」を創成します。

地域のポテンシャル

浜松地域では、従来から静岡大学（工学部・情報学部・電子工学研究所）や浜松医科大学をはじめとする学術研究機関と、高度な技術を有する研究開発型企業、静岡県浜松工業技術支援センター等の公設試験研究機関が、新技術や新製品開発等に向けて積極的に産学官連携に取り組んでいます。そして、それらの産学官連携をサポートするため、行政機関や浜松商工会議所、財団法人浜松地域テクノポリス推進機構等の産業支援機関が全国屈指ともいえる密接な連携体制を構築しています。さらに、平成19年7月には、各産業支援機関の総合窓口・ポータルサイトとして「はままつ産業創造センター」が新たに開設されました。

浜松地域は、高い技術力と労働力、そして何事にも積極果敢に取り組む「やらまいか精神」という地域独特の気質・風土のもと、日本有数の産業集積を形成しています。特に、輸送用機器や楽器等の分野では、世界的企業や光技術に関する先進企業、研究開発型企業が数多く集積しています。

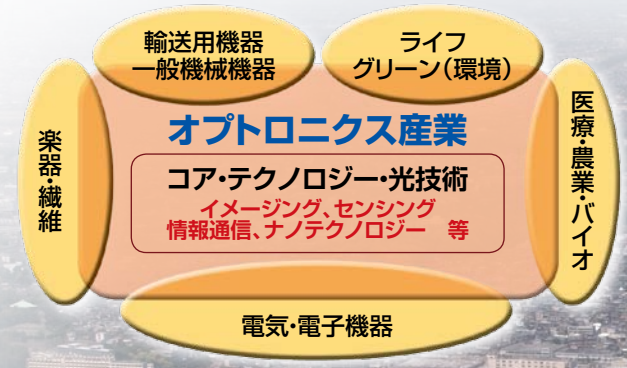
一方、愛知県東三河地域では豊橋技術科学大学を中心に産学官連携が進められています。

また、浜松地域と東三河地域では、連携協力して、平成21年6月に、産学官連携拠点「光・電子技術イノベーション創出」の採択を受けるとともに、文部科学省大学等産学官連携自立化促進プログラム「東海イノベーションネットワーク」や経済産業省三遠南信（浜松市・豊橋市・飯田市）地域基本計画を推進するなど、県境を越えて密接な交流を行っています。

構想の全体イメージ

浜松地域には、TOYOTA・HONDA・SUZUKI・YAMAHA・KAWAI等の多くの創設者が起業し、世界を牽引する製造技術と輸送機・楽器産業等に必要な幅広い企業力が有ります。また静岡大学の故高柳健次郎教授（文化勲章受賞）がテレビジョン開発の世界拠点として活躍したことに由来する浜松地域のオプトロニクス技術関連産業も、世界の最先端を走る製品を提供しています。

本プロジェクトでは、地域の大学におけるオプトロニクス関連の研究テーマと企業の産業力との連携による光・電子関連分野の研究開発の推進により、将来におけるあらゆる産業の基盤技術となる新産業（オプトロニクス産業）を創成するとともに、輸送用機械、楽器、繊維等の国際優位性のある地場産業や医療、ライフ、グリーン（環境）技術との融合による高付加価値化、革新的技術・製品の連鎖的創出を目指します。



■浜松・東三河地域イノベーションシステム整備事業の概要

「オプトロニクス技術の高度化による安全・安心・快適で持続可能なイノベーション社会の構築」

本事業では上記基本理念の具体化を進め、知的クラスター第I期事業で醸成された基盤技術をさらに高度化し、国内外に波及させるとともに新分野においても技術革新をはかり、世界に通じる研究開発を強力に推進します。

知の拠点である大学が保有する有望なシーズと、地域内外企業が保有する開発能力を融合して共同研究を推進し、事業化につなげるための新技術シーズを創出します。また、新技術シーズを早期に事業化するため、三遠南信地域基本計画等の関係府省の施策や、地域自治体による研究成果助成制度等を積極的に活用していきます。

OPTRONICS CLUSTER